

京都府公立大学法人の平成30年度
業務実績に関する評価結果

令和元年9月

京都府公立大学法人評価委員会

目 次

第1	評価の基本方針	1
1	評価の趣旨	1
2	評価の方針	1
3	評価の方法	1
第2	全体評価	2
第3	項目別評価	4
1	教育研究等の質の向上に関する事項	4
(1)	教育等に関する目標	4
(2)	研究に関する目標	5
(3)	地域貢献に関する目標	5
(4)	医科大学附属病院及び北部医療センターに関する目標	6
2	業務運営の改善等に関する事項	6
3	財務内容の改善に関する事項	7
4	教育研究及び組織運営の状況の自己点検・評価 並びに当該状況に係る情報の提供に関する事項	7
5	その他運営に関する重要事項	8

第1 評価の基本方針

1 評価の趣旨

京都府公立大学法人評価委員会（以下「評価委員会」という。）は、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第28条第1項の規定により、京都府公立大学法人（以下「法人」という。）の平成30年度の業務の実績について、次の方針に基づき評価を行った。

2 評価の方針

- ア 大学の教育研究の特性に配慮しつつ、法人の継続的な質向上に資する。
- イ 中期計画に定めた項目ごとの各年度における具体的な実施状況について調査・分析し、業務の全体について評価を行うことにより、業務運営の改善・充実に資する。
- ウ 評価を通じて、法人の業務運営状況を明らかにし、府民に分かりやすく示す。

3 評価の方法

- ア 評価は、法人による自己評価を聴取した上で行った。
- イ 評価は、全体評価及び項目別評価により行った。

(ア) 全体評価

全体評価は、項目別評価の結果を踏まえ、法人の業務の実績全体について評価を行った。

(イ) 項目別評価

項目別評価は、年度計画の小項目及び大項目ごとに行った。

年度計画の小項目ごとの評価は、次のⅣ～Ⅰの4段階により行った。

- | | |
|---|------------------|
| Ⅳ | 年度計画を上回って実施している |
| Ⅲ | 年度計画を十分に実施している |
| Ⅱ | 年度計画を十分には実施していない |
| Ⅰ | 年度計画を実施していない |

年度計画の大項目ごとの評価は、次のS～Dの5段階により行った。

- | | |
|---|-----------------------------|
| S | 特筆すべき進捗状況にある（評価委員会が特に認める場合） |
| A | 順調に進んでいる（すべてⅣ又はⅢ） |
| B | 概ね順調に進んでいる（Ⅳ又はⅢの割合が9割以上） |
| C | やや遅れている（Ⅳ又はⅢの割合が9割未満） |
| D | 重大な改善事項がある（評価委員会が特に認める場合） |

第2 全体評価

法人は、京都府立医科大学（以下「医科大学」という。）及び京都府立大学（以下「府立大学」という。）を設置及び管理し、府民に開かれた大学として透明性の高い運営を行うとともに、京都府の「知の拠点」として、質の高い教育研究の実施を通して、幅広い教養、高い専門能力及び倫理観を持った人材を育成し、また、世界トップレベルの医療の提供や教育研究の成果を府民や地域に還元することにより、府民生活の向上、地域社会や国内外の発展に貢献することを目的としている。

この目的の具現化を図るため、平成20年度の法人化以降、6年間ごとに中期計画を作成し、総合的で専門性の高い教育研究の実施と優れた人材の育成、産学公連携等による地域貢献、高度で安全・安心な医療の提供や、効果的・効率的な業務運営等に取り組まれてきたところである。

平成26年度から平成31年度までの6年間は、第2期中期目標期間であることから、法人では目標の達成に向けた第2期中期計画を平成26年3月に作成の上、毎年度、年度計画を作成し取り組まれているところであり、今回、その5年目の年度に当たる平成30年度計画の業務実績について評価を行った。

その結果、年度計画全116項目中115項目が「年度計画を上回って実施している」（評価Ⅳ）又は「年度計画を十分に実施している」（評価Ⅲ）となり、その割合は全体の99.1%であった。このため、中期計画の達成に向けて、法人全体として「概ね順調に進んでいる（Ⅳ又はⅢの割合が9割以上）」と評価する。

具体的には、医科大学において初期臨床研修後の医師の府内就職率が平成29年度以降から大幅に向上しているとともに、医科大学附属病院及び附属北部医療センターにおいて、地域医療連携の強化に努めたことにより、患者紹介率及び逆紹介率が向上していることや、府立大学の京都地域未来創造センターにおいて、人材育成の相互協力を行うことを目的にポートランド州立大学公共サービス研究・実践センターと国際交流協定を締結するなど、着実に進捗している項目が見られた。

一方で、医科大学において、医学科学生の府内就職率の目標が達成できていないことから、「年度計画を十分には実施していない」（評価Ⅱ）と認められるものがあつた。

コンプライアンスの推進については、平成28年度の医科大学附属病院における虚偽有印公文書作成・同行使容疑で家宅捜索を受けた事案など、これまでに発生した一連の事案を踏まえ、今後も引き続き取組の充実・強化を求める。

法人においては、今年度が第2期中期計画の最終年度となるため、これまでの中期計画期間における成果や課題を十分に点検した上で、引き続き必要な改善を施すことにより、中期計画の達成に向けて、理事長のリーダーシップと信念のもと、副理事長である両大学の学長とともに一法人二大学の特長を発揮し、より一層積極的に取り組まれることを期待する。

【平成 30 年度計画「大項目」評価結果】

大項目 \ 評価	S	A	B	C	D
	特筆すべき進捗状況（達成状況）にある	順調に進んでいる（良好な達成状況）にある	概ね順調に進んでいる（概ね良好な達成状況）にある	やや遅れている（不十分な達成状況）にある	重大な改善事項がある
教育研究等の質の向上に関する事項			○ (○)		
業務運営の改善等に関する事項		○		(○)	
財務内容の改善に関する事項		○ (○)			
教育研究及び組織運営の状況の自己点検・評価並びに当該情報に係る情報の提供に関する事項		○ (○)			
その他運営に関する重要事項		○ (○)			

注) () 書は平成 29 年度の評価結果

第3 項目別評価

1 教育研究等の質の向上に関する事項

- 第2期中期目標の「大項目」である「第2 教育研究等の質の向上に関する事項」については、教育研究の特性に配慮し、事業の外形的・客観的な進捗状況についての評価を行った。本項目に係る平成30年度計画については、項目数が多く、内容も幅広いため、細分化し、評価結果を取りまとめた。

◆「教育研究等の質の向上に関する事項」の全体評価

- 平成30年度計画については、「小項目評価」において、86項目中85項目が「Ⅳ」（年度計画を上回って実施している）又は「Ⅲ」（年度計画を十分に実施している）の評価結果となり、その割合が9割以上（98.8%）となっているため、「大項目評価」としては、「B」評価であり、平成30年度計画が概ね順調に進んでいると認められる。

大項目評価		B				
		概ね順調に進んでいる。				
小項目評価	評 価	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	計
	項目数	3	82	1	0	86
	構成比(%)	(3.5)	(95.3)	(1.2)	(0.0)	(100.0)

(1) 教育等に関する目標

小項目評価	評 価	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	計
	項目数	0	35	0	0	35
	構成比(%)	(0.0)	(100.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)

(評価できる項目)

- 三大学教養教育共同化（連携大学：京都工芸繊維大学、京都府立医科大学、京都府立大学）の取組において、リベラルアーツ・ゼミナールの拡充や、「防災」に関する科目等の新設により科目数を80科目から82科目に拡充するなど、共同化の取組を更に充実させている。
- 府立大学の和食文化学科開設に向けて、文部科学省へ学則変更の届出及び学生募集を行うとともに、旧附属図書館棟を和食文化学科が中心となって利用する学舎として整備するなどの取組を推進している。
- 医科大学における医師国家試験の合格率について、模擬試験の実施や個別面談・指導など、既卒者も含め受験者全員の合格に向けた学生に対する支援により、昨年度実績を大きく上回るとともに、全国平均を上回っている。

(2) 研究に関する目標

	評 価	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	計
小項目評価	項目数	0	2 3	0	0	2 3
	構成比(%)	(0.0)	(100.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)

(評価できる項目)

- 府立大学の京都地域未来創造センターにおいて、新たにポータランド州立大学公共サービス研究・実践センターと国際交流協定を締結、「まちづくり人材育成プログラム」に参加し、調査・研究・教育及び人材育成の相互協力を行うなど、地域公共人材育成の取組を進めている。
- 医科大学附属病院では、最先端がん治療研究施設における陽子線治療機器について、厚生労働大臣の医療機器製造販売承認及び医療法の施設使用許可を取得するとともに、先行治療事例として陽子線治療を開始するなど、最先端の研究・診療機器の導入等により研究の推進を図っている。

(3) 地域貢献に関する目標

	評 価	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	計
小項目評価	項目数	1	1 2	0	0	1 3
	構成比(%)	(7.7)	(92.3)	(0.0)	(0.0)	(100.0)

(評価できる項目)

- 府立大学において、産学連携活動を支援する取組により企業等との共同研究・受託研究等の件数が大幅に増加（㉔実績 50 件→㉔実績 108 件（116%増））した。また、医科大学においても件数が増加（㉔実績 129 件→㉔実績 161 件（24.8%））しており、両大学において、計画の数値目標（共同研究・受託研究等の件数を中期目標期間中に 10%以上増加させる）を大きく上回って達成している。
- 医科大学では、行政従事医師として、府庁及び府内保健所等の行政機関への医師の派遣を行うとともに、医師不足が特に深刻な府北部地域の医療機関へ継続的に医師を派遣するなど、地域医療を支える拠点としての地域貢献の取組を進めている。

(4) 医科大学附属病院及び附属北部医療センターに関する目標

	評 価	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	計
小項目評価	項目数	2	1 2	1	0	1 5
	構成比(%)	(13. 3)	(80. 0)	(6. 7)	(0. 0)	(100. 0)

(評価できる項目)

- 医科大学の初期臨床研修後の医師の府内就職率について、89. 8%（計画：79. 5%）となっており、計画の数値目標を大きく上回って達成している。
- 地域医療連携の強化に努めたことにより、患者紹介率及び逆紹介率が、医科大学附属病院ではそれぞれ 88. 8%（計画：60%以上）、75. 6%（計画：50%以上）、附属北部医療センターではそれぞれ 56. 3%（計画：54. 5%以上）、126. 0%（計画：100%以上）となり、計画の数値目標を大きく上回って達成している。
- 入院及び外来の患者満足度については、診療を行いながらの設備の改修工事が困難である中で、医科大学附属病院ではそれぞれ 85. 1%（計画：90%以上）、76. 7%（計画：80%以上）、附属北部医療センターではそれぞれ 86. 2%（計画：90%以上）、80. 8%（計画：80%以上）と概ね計画の数値目標を達成している。
- 病床利用率において、地域医療連携の推進に努めた結果、医科大学附属病院では 84. 9%（計画：85. 5%以上）、附属北部医療センターでは 77. 4%（計画：80. 0%以上）となっており、概ね計画の数値目標を達成している。

(課題となる項目)

- 医科大学の医学科学生の府内就職率は、56. 7%（計画：62%以上）となっており、計画の数値目標を達成できていない。
 なお、次期中期計画では、府内の必要医師数を考慮するなど、地域の実情に応じた数値目標とすべきである。

2 業務運営の改善等に関する事項

- 平成 30 年度計画については、「小項目評価」において、8 項目中 8 項目全てが「Ⅲ」（年度計画を十分に実施している）の評価結果となり、「大項目評価」としては、「A」評価であり、平成 30 年度計画が順調に進んでいると認められる。

大項目評価		A	順調に進んでいる。			
	評 価	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	計
小項目評価	項目数	0	8	0	0	8
	構成比(%)	(0. 0)	(100. 0)	(0. 0)	(0. 0)	(100. 0)

(評価できる項目)

- 理事長と両学長、事務総長による法人経営戦略会議を定期的に開催し、喫緊の課題や今後の取組みについて協議を行うとともに、法人本部・大学事務局会議や法人・大学の管理職会議を適宜開催し、意思疎通の緊密化を図るなど、理事長と学長のリーダーシップを効果的に発揮する取組を行っている。
- 労働局・公共職業安定所、府立支援学校、障害者就業・生活支援センター等との連携により障害者雇用を推進し、法人全体の障害者雇用率が2.68%となっており、法定雇用率(2.5%)を達成している。

3 財務内容の改善に関する事項

- 平成30年度計画については、「小項目評価」において、4項目中4項目全てが「Ⅲ」(年度計画を十分に実施している)の評価結果となり、「大項目評価」としては、「A」評価であり、平成30年度計画が順調に進んでいると認められる。

大項目評価		A	順調に進んでいる。			
小項目評価	評価	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	計
	項目数	0	4	0	0	4
	構成比(%)	(0.0)	(100.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)

(評価できる項目)

- 研究の科学研究費等の外部資金を獲得するため、両大学では、外部資金申請を全教員が1件以上行い、数値目標(数値目標:各教員は科学研究費を含む外部資金申請を年1件以上行う)を達成している。

4 教育研究及び組織運営の状況の自己点検・評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する事項

- 平成30年度計画については、「小項目評価」において、2項目中2項目全てが「Ⅲ」(年度計画を十分に実施している)の評価結果となり、「大項目評価」としては、「A」評価であり、平成30年度計画が順調に進んでいると認められる。

大項目評価		A	順調に進んでいる。			
小項目評価	評価	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	計
	項目数	0	2	0	0	2
	構成比(%)	(0.0)	(100.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)

(評価できる項目)

- 医科大学附属病院では、病院機能評価の結果を踏まえ、投薬、注射の確実・安全な実施のための見直しや災害時の飲料水の備蓄を計画的に実施するなど、必要な改善を進めている。
- 医科大学においては、医学教育分野別評価の結果を踏まえ、医学科カリキュラムの適正化に向けた検討を進めるとともに、府立大学においては大学認証評価の結果を踏まえ、無線 LAN の整備を行うなど、必要な改善に取り組んでいる。

5 その他運営に関する重要事項

- 平成 30 年度計画については、「小項目評価」において、16 項目中 16 項目全てが「Ⅲ」（年度計画を十分に実施している）の評価結果となり、「大項目評価」としては、「A」評価であり、平成 30 年度計画が順調に進んでいると認められる。

大項目評価		A	順調に進んでいる。			
小項目評価	評 価	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	計
	項目数	0	16	0	0	16
	構成比(%)	(0.0)	(100.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)

(評価できる項目)

- 医科大学及び府立大学においては地元消防署と連携し、消防・防災訓練などを実施するとともに、附属病院及び北部医療センターでは、DMA T 養成研修等に参加するなど、災害発生時や緊急時の対応力向上に努めている。
- 医科大学附属病院では、手術室 2 室の増室工事を実施するとともに、附属北部医療センターではがんの診断から治療までの一体的な実施に向けたがん診療棟工事に着工するなど、高度な医療に対応できる施設整備が進められている。また、府立大学では、和食文化学科の開設に向けて、旧附属図書館棟の改修を行うなど、大学施設の整備が進められている。
- 附属病院及び附属北部医療センターにおいて、電子カルテシステムのサーバーを相互に設置することで、バックアップ機能を有する災害に強い電子カルテシステム導入に着手している。
- 医科大学附属病院における虚偽有印公文書偽造・同行使容疑で家宅搜索を受けるという事案や、府立大学における大学院入試問題の出題範囲漏洩事案など、これまで発生した一連の事案を踏まえ、法人全体としてコンプライアンス推進の取組を行っている。
今後も、引き続き適正な大学運営が行われるよう取組の充実・強化を行っていくことが必要である。